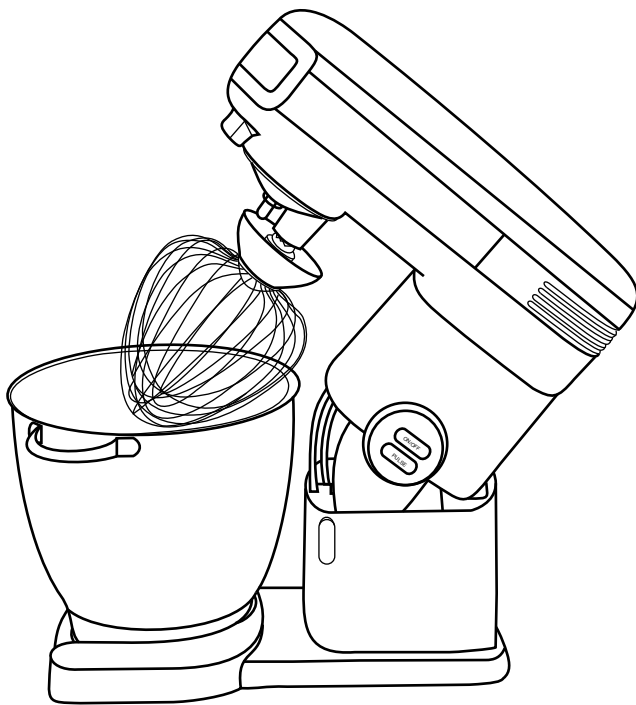


WARING
COMMERCIAL®

WARING STAND MIXER

WSM7Q

取扱説明書



OSAKA CHEMICAL CO.,LTD.

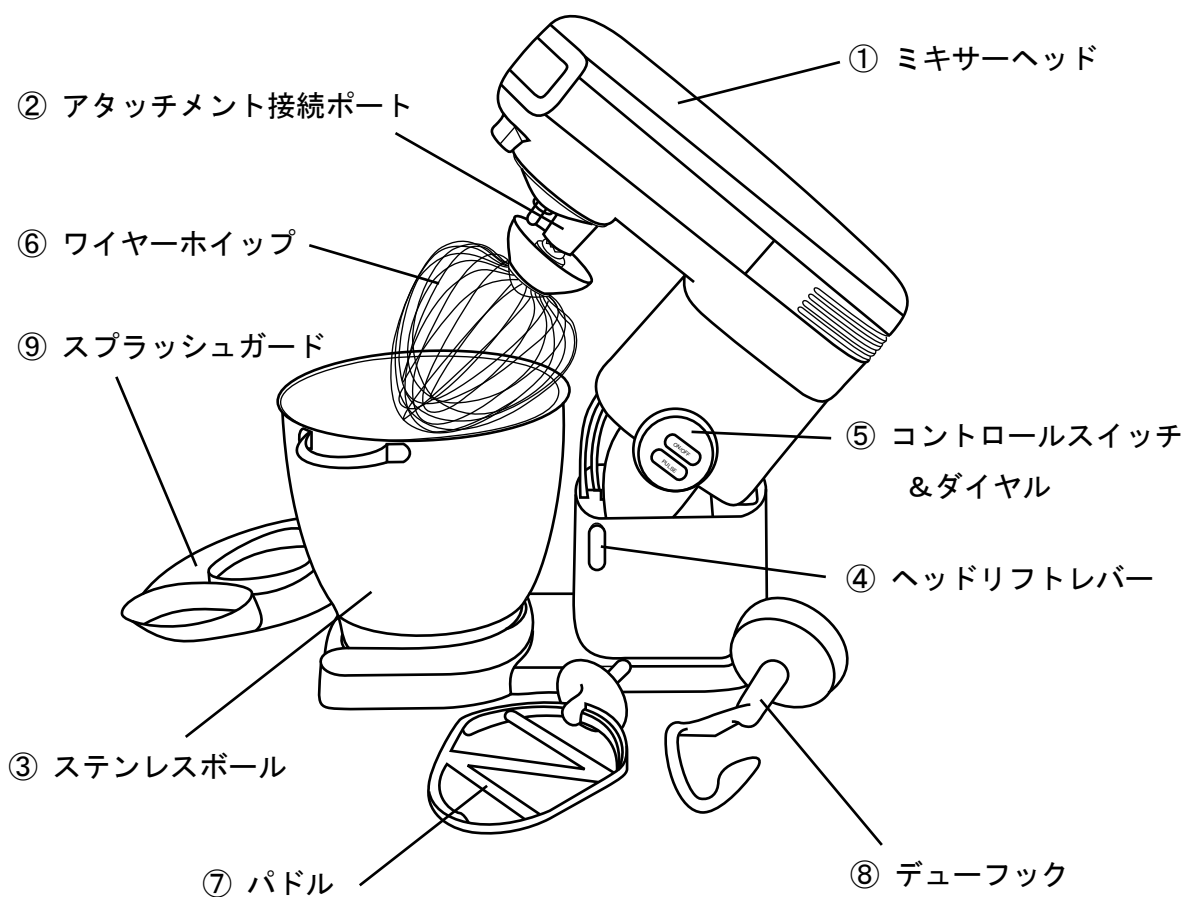
Waring Stand Mixer

WSM7Q

この度は WARING 社 Stand Mixer「WSM7Q」をご購入頂き、誠にありがとうございました。
本機は実験、研究用の強力な大容量攪拌機です。 本機を正しく事故のないようお使い頂く為に、
ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み下さいますようお願い致します。

図 -A

[WSM7Q 各部名称]



① ワイヤーホイップ

粘度の低い試料に空気を
入れながらミキシングするの
に適しています。



② パドル

粘度の高い試料を攪拌・混合
するのに適しています。



③ デューフック

粘度が非常に高く、重量が
重い試料を混練するの
に適しています。



ワーリングスタンドミキサー
仕様

型 式	WSM7Q
電 源	100V、50/60Hz
消費電力	850W
回 転 数	12 段変速
寸 法	210x370x370mm(H)
容器寸法	底部 50x 開口部 242x 高さ 240mm
重 量	8.7kg (ホイップ、SUS 容器取付時)
付 属 品	ワイヤーホイップ、パドル、 デューフック、スプラッシュガード
価 格	¥198,000

スタンドミキサー回転速度表

スピード	回転数 (rpm) 無負荷時
1	41
2	53
3	66
4	79
5	90
6	103
7	113
8	126
9	139
10	150
11	165
12	176

※上記データは WARING 社の提供データです

図 -B

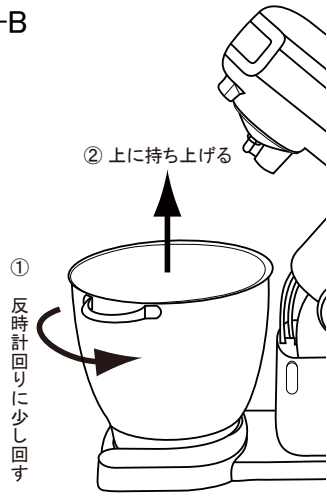


図 -C

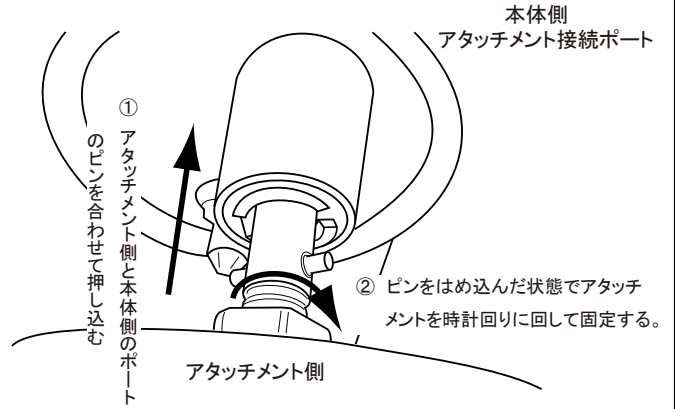


図 -D

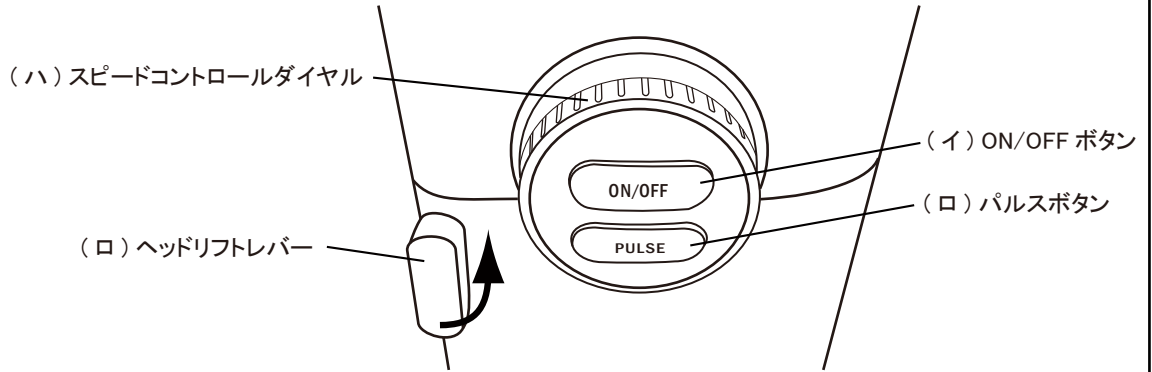
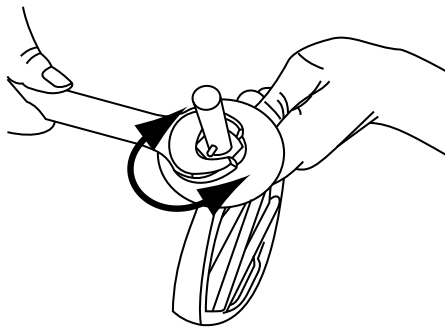


図 -E

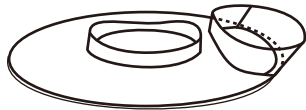


操作

1. まず、図 -D のヘッドリフトレバー（ロ）を矢印の方向に回すと、図 -A のミキサーヘッド①が持ち上がります。ミキサーヘッドをそのままヘッドリフトレバーがカチッと鳴って元の位置に戻ってロックされるまで手で持ち上げます。
2. 図 -B のようにステンレスボールを反時計回りに少し回して上に持ち上げて、ステンレスボールを台座から取り外します。
3. ステンレスボールにミキシングする試料を投入します。
4. 2 と逆の動作で試料の入ったステンレスボールを台座に置き、ゆっくりとボールを時計回りに回し、しっかりと取り付けます。
5. 図 -A のアタッチメント接続ポート② 上部の円周上にある窪みにスプラッシュガード⑨をはめこみます。この時アタッチメントがセットされている状態だと、スプラッシュガードを取付けできませんので、取り外して作業を行って下さい。
6. 図 -C のように用途に合わせて、アタッチメントを取り付けます。
7. 図 -D のヘッドリフトレバー（ロ）を再び矢印の方向に回してロックを解除し、ミキサーヘッドを手で下方向に最後まで押し込み、ロックして固定します。
8. 準備が整ったら、電源コードのプラグを 100V のコンセントに差し込んで下さい。（その際必ずアースをお取り下さい。）
9. 図 -D のスピードコントロールダイヤル（ハ）を反時計回りに回してダイヤルを「1」に合わせてから、ON/OFF ボタン（イ）を押して稼働させます。スピードコントロールダイヤルを徐々に上げていって希望の速度でミキシングして下さい。
10. また、ON/OFF ボタンを押して稼働させる代わりにパルスボタン（ロ）を押します。押している間だけ最高スピードでミキシングします。パルスボタンを押している指を離すとミキサーはストップします。この時、試料があふれ出ないように十分注意して下さい。
11. ミキシング作業が終わったら、ON/OFF ボタンを押して運転を止めます。機械が完全に止まったらコンセントから電源コードのプラグを外します。
12. 1 ～ 2 の手順でステンレス容器を取り外し、試料を適当な器に移し替えて下さい。
13. 使用後はスプラッシュガード、ステンレスボール、アタッチメントを取り外し中性洗剤で洗浄し、よくリンスして、乾燥させた上で保存して下さい。本体の汚れはよく絞った濡れた布等で拭き取って下さい。

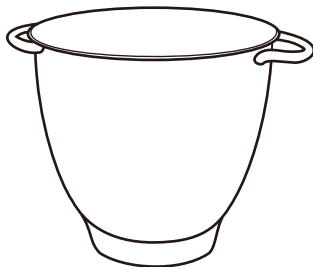
注：アタッチメントがステンレスボールの底に付いたり、ミキシングする試料にアタッチメントが届いていない場合は、図 -E のようにモンキースパナ等でナットを回して調整して下さい。

交換部品表



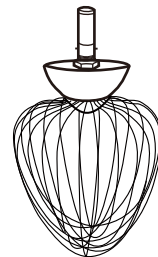
スプラッシュガード

型番 : 029131 ¥3,200



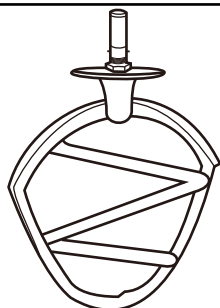
ステンレスボール

型番 : 029130 ¥49,000



ワイヤーホイップ

型番 : 029132 ¥14,400



パドル

型番 : 029134 ¥20,000



デューフック

型番 : 029133 ¥9,300

注意事項

- 機械の改造はしないで下さい。火災、感電、怪我の原因になります。
- 本体を水につけたり、水をかける等は絶対にしないで下さい。ショート、感電の原因となります。
- 本機を操作する前に電源コードのプラグがコンセントに入っていない事を確認して下さい。作業中に誤って電源が入ってしまうと非常に危険です。
- 運転作業は平らで安定したところで行って下さい。
- ネクタイや髪の毛、ネックレス等を巻き込まれないよう十分にご注意下さい。
- 容器やアタッチメントの取り外しは必ず電源プラグをコンセントから取り外してから行って下さい。
- 本機の稼働時は図-Dのスピードコントロールダイヤル（ハ）を1に戻しておいて下さい。最初から高速運転すると試料があふれ出る事がございます。パルスボタン（ロ）を使用して運転する場合も試料があふれ出ないように十分気をつけて運転して下さい。
- 作動中はステンレスボールの中に手や指、箸、スプーン等は絶対に入れないで下さい。
- 作動中にアタッチメントが動かなくなったり、動作が異常だと感じたら直ちにスイッチをOFFにし、点検を行って下さい。（その際、本体のプラグをコンセントから外して行って下さい。）
試料を入れすぎていた場合は、試料を減らしてお試し下さい。
- 決して稼働部分に触れないで下さい。
- 屋外では使用しないで下さい。

安全装置（自動復帰）説明

本機スタンドミキサー WSM7Q にはモーターの焼き付き故障を防ぐ為、安全装置が組み込まれています。強い負荷のかかる試料を入れたとき、アタッチメントと容器の間に試料が挟まって動かなくなったり、分量が多すぎた場合等、モーターに過剰な負荷がかかった時には、過電流防止装置が働いてモーターが自動的に停止します。これは故障ではありませんので、次の作業手順に従って再スタートして下さい。

1. まず、本機の運転が停止しているのを確認して、プラグを電源コンセントから抜きます。
2. ステンレスボールを本体台座から取り外し、ボール内の試料の量が多い場合は分量を減らして下さい。
3. 15分程機械を休めます。その間この機械の自動復帰機能が働き、自動復帰します。通常通りご使用下さい。

○上記の注意事項を怠ったりしますと、事故につながったり、十分な試料作成が出来ない場合がありますので、必ず守って下さいますようお願い申し上げます。



ラボ用輸入機材専門メーカー

大阪ケミカル株式会社

〒530-0045

大阪府大阪市北区天神西町 5-17 アクティ南森町 2F

TEL 06-6311-1050 FAX 06-6311-1070

E-mail: info@daichem.co.jp

<http://www.daichem.co.jp>